

発表  
機関

令和7年11月26日（水）  
沖縄労働局 職業安定部

担  
当

沖縄労働局 職業安定部  
職業安定部長 中島 千勝  
職業安定課長 真壁 朝文  
地方職業安定監察官 稲田 裕子  
☎ 098-868-1655

## 令和6年度ハローワークのマッチング機能に関する 業務の総合評価の結果等について

沖縄労働局（局長 柴田 栄二郎）では、平成27年度から目標管理・業務改善の取組拡充等を柱とする「ハローワーク総合評価」を実施しており、サービスの質の向上に向け、継続的に取り組んでいるところです。

今般、令和6年度における各ハローワークの評価結果及び業務の取組（総括）を取りまとめましたので別添のとおり公表します。

### 1. 各ハローワークにおける評価結果

- ハローワーク那覇 ⇒ 「標準的な成果」
- ハローワーク沖縄 ⇒ 「標準的な成果」
- ハローワーク名護 ⇒ 「標準的な成果」
- ハローワーク宮古 ⇒ 「良好な成果」
- ハローワーク八重山 ⇒ 「良好な成果」

※評価区分(類型1～4)

類型1「非常に良好な成果」

類型2「良好な成果」

類型3「標準的な成果」

類型4「成果向上のため計画的な取組が必要」

### 2. 各ハローワークにおける業務実績

	項目	就職件数 (一般)	充足数 (一般、受 理地ベース、 オンライン 自主応募 含む)	雇用保険受 給者の早期 再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワーク の職業紹介 により、正 社員就職に 結びついた 就職氷河期 世代の不安 定就労者・ 無業者の 件数	生活保護受 給者等の就 職率	障害者の 就職件数	就職支援ナ ビゲーター の支援によ る新規卒業 予定者等 (既卒者含 む)の正 社員就職 件数	わかものハ ローワーク 等を利用し て就職した フリーター 等のうち、 正社員とし て就職した 者の割合	公的職業訓 練の修了3 ヶ月後の 就職件数	マザーズハ ローワーク 事業におけ る担当者制 による就職 支援を受け た重点支援 対象者の就 職率	人材不足分 野の就職件 数	生涯現役支 援窓口65歳 以上の就職 率
那 覇 所	目標	8,472	8,753	36.6%	90.0%	95.0%	517	68.6%	933	2,494	71.0%	542	95.9%	2,172	83.4%
	実績	7,896	8,356	39.7%	80.6%	89.6%	455	68.7%	931	2,512	70.7%	633	107.6%	2,259	97.7%
沖 縄 所	目標	6,334	5,631	37.4%	90.0%	95.0%	393	68.4%	656	-	71.0%	434	95.9%	2,175	83.4%
	実績	5,685	5,122	38.6%	78.6%	94.2%	445	80.0%	633	-	73.2%	580	96.2%	1,992	89.6%
名 護 所	目標	2,014	1,628	41.0%	90.0%	95.0%	149	61.1%	130	157	71.0%	95	-	585	83.4%
	実績	1,838	1,573	43.3%	87.7%	98.0%	139	80.6%	146	202	94.5%	142	-	566	76.5%
宮 古 所	目標	1,622	1,532	39.7%	90.0%	95.0%	73	-	61	106	-	27	-	370	-
	実績	1,850	1,809	41.1%	75.0%	98.1%	96	-	62	99	-	34	-	503	-
八 重 山 所	目標	1,518	1,609	41.8%	90.0%	95.0%	68	-	103	106	-	23	-	409	-
	実績	1,736	1,677	39.8%	89.2%	95.4%	51	-	107	124	-	26	-	370	-

※黄色の網掛け部分は目標達成を表示

### 3. 公表資料

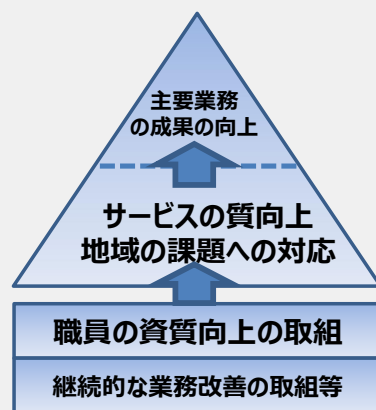
- (1) 「ハローワークマッチング機能に関する総合評価の概要」
- (2) 「令和6年度におけるハローワークのマッチング機能に関する業務実績」
- (3) 各ハローワークの「就職支援業務報告（令和6年度）」

# ハローワーク総合評価について【概要】

- ハローワークにおけるマッチング機能強化を目的に、目標管理・業務改善の取組拡充等を柱とする「ハローワーク総合評価」を実施。
- 例年、すべてのハローワークにおいて業務毎に目標値を設定し、その達成状況等に応じた4段階の相対評価等を実施。次年度以降の業務改善に繋げる。また、取組状況や評価結果は公表し、審議会（労働政策審議会（本省）や地方労働審議会（労働局））にも報告。
- (1)目標管理、(2)実績公表・相対評価、(3)評価結果に基づく業務改善といった一連の流れを続けることにより、サービスの質の向上に向けた取組を継続的に実施。

## (1) PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

- 就職件数等の主要指標のみに基づくPDCAサイクルによる目標管理を拡充し、
  - ① 業務の質に関する補助指標
  - ② ハローワーク毎に、地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する所重点指標
  - ③ ハローワーク毎に、中長期的なマッチング機能強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進する評価項目である所重点項目を加え、総合的な観点から目標管理を実施。



短期的な成果の向上だけでなく、  
中長期的な業務の質向上・業務改善を図り、  
マッチング機能を強化

## (2) ハローワークのマッチング機能の 総合評価・利用者への公表

- 業務の成果（主要指標）を毎月公表。
- 年度終了後、業務の成果（主要指標・所重点指標）や質（補助指標）、職員の資質向上・業務改善の取組（所重点項目）の実施状況を踏まえ、ハローワーク毎に総合評価を実施。
- ハローワーク毎に総合評価結果及び業務改善の取組等をまとめ、各労働局が公表。



重点的に取り組んだ事項、  
業務改善を図った事項、  
業務改善が必要な事項、  
総合評価、指標ごとの実績  
及び目標達成状況などを公表。

- 総合評価結果を、労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

## (3) 評価結果に基づく 全国的な業務改善

- ハローワークのマッチング機能の強化を図るため、評価結果をもとに、本省・労働局による個別のハローワークへの重点指導や好事例の全国展開を実施。
  - ① 評価結果に基づき、本省から、労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導。
  - ② 一定の基準に該当するハローワークは改善計画を作成、本省・労働局が重点指導。
  - ③ 相対的に高評価であったハローワークにおける取組事例を全国展開。

次年度以降も  
(1)～(3)を実施

# 令和6年度におけるハローワークのマッチング機能に関する業務実績

	指標	全所必須指標					所重点指標								
		主要指標			補助指標										
	項目	就職件数 (一般)	充足数 (一般、受理地 ベース、オンラ イン自主応募 含)	雇用保険受給 者の早期再就 職割合	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの 職業紹介によ り、正社員就職 に結びついた就 職氷河期世代の 不安定就労者・ 無業者の件数	生活保護受給者 等の就職率	障害者の 就職件数	就職支援ナビ ゲーターの支援 による新規卒業 予定者等（既卒 者含む）の 正社員就職件数	わかものハロー ワーク等を利用 して就職したフ リーター等のう ち、正社員とし て就職した者の 割合	公的職業訓練の 修了3ヶ月後の 就職件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける担当者制に よる就職支援を 受けた重点支援 対象者の就職率	人材不足分野 の就職件数	生涯現役支援 窓口65歳以上 の就職率
沖 縄 局	目標	19,960	19,153	37.5%	90.0%	95.0%	1,200	68.1%	1,883	2,863	71.0%	1,121	95.9%	5,711	83.4%
	実績	19,005	18,537	39.7%	82.7%	95.0%	1,186	72.0%	1,879	2,937	73.5%	1,415	102.0%	5,690	92.7%
那 覇 所	目標	8,472	8,753	36.6%	90.0%	95.0%	517	68.6%	933	2,494	71.0%	542	95.9%	2,172	83.4%
	実績	7,896	8,356	39.7%	80.6%	89.6%	455	68.7%	931	2,512	70.7%	633	107.6%	2,259	97.7%
沖 縄 所	目標	6,334	5,631	37.4%	90.0%	95.0%	393	68.4%	656	－	71.0%	434	95.9%	2,175	83.4%
	実績	5,685	5,122	38.6%	78.6%	94.2%	445	80.0%	633	－	73.2%	580	96.2%	1,992	89.6%
名 護 所	目標	2,014	1,628	41.0%	90.0%	95.0%	149	61.1%	130	157	71.0%	95	－	585	83.4%
	実績	1,838	1,573	43.3%	87.7%	98.0%	139	80.6%	146	202	94.5%	142	－	566	76.5%
宮 古 所	目標	1,622	1,532	39.7%	90.0%	95.0%	73	－	61	106	－	27	－	370	－
	実績	1,850	1,809	41.1%	75.0%	98.1%	96	－	62	99	－	34	－	503	－
八 重 山 所	目標	1,518	1,609	41.8%	90.0%	95.0%	68	－	103	106	－	23	－	409	－
	実績	1,736	1,677	39.8%	89.2%	95.4%	51	－	107	124	－	26	－	370	－

※濃い黄色の網掛け部分は目標達成を表示

# ハローワーク那覇 就職支援業務報告（令和6年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

#### ① 各指標に対する取組

当所では、主要3指標（就職件数、求人充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数）の目標達成を最重要と位置づけ求職者、求人者及び雇用保険受給者に対する様々な取組を実施しました。

#### 【就職件数】

- ・シニア層への就職支援対策として、「シニア層歓迎求人の作成」、「窓口や求職者マイページによる積極的な情報提供・マッチング」に取り組みました。
- ・マッチング機会を増やすことを目的に履歴書不要の気軽に参加できる「カジュアル企業座談会・面接会」を実施しました。
- ・雇用対策協定に基づく自治体との連携において、南城市にて「シニア向け企業説明・面接会」を実施しました。
- ・求職者マイページ利用促進のため、新規求職受付の際、求職者が携帯電話等を使用してオンライン求職申し込み及びマイページ登録ができるよう丁寧な入力支援を行い、求職者マイページ開設後は、各種情報提供を徹底しました。
- ・グッジョブセンターに入居する関係機関（県・那覇市）と連携し、前年度より回数を増やし合同企業説明会を7回開催しました。
- ・障害者の雇用の促進に向けては、初めて障害者雇用を行おうとする企業を対象とした「企業説明会」を実施し、さらに障害者求人企業、障害者職業センター、就業生活支援センター（ナカボツ）等就労支援に関わる機関も参加し相互に障害者雇用に係る相談・情報共有ができるよう「障害者雇用合同説明会&まるっと相談会」を実施しました。

#### 【求人充足件数】

- ・求人者に対しては、労働条件緩和の働きかけによる良質求人の確保、事業所訪問時に求職者情報一覧を持参しマッチング強化に取り組みました。
- ・充足支援対策として、事業所訪問の際に撮影した就業場所の写真や現場担当者のインタビューについて、職場の雰囲気等が求職者に伝わるよう工夫して掲示を行いました。また、「訓練修了者歓迎求人」を作成し、訓練修了者に情報提供を行いました。
- ・仕事と育児の両立支援コーナーを設置し、両立支援求人一覧表を作成配布するなど、対象求職者へ情報提供を行いました。

- ・沖縄県のリーディング産業である観光業の充足支援として全県下で実施した「観光関連求人充足キャンペーン」において、当所では「観光関連求人充足キャンペーンコーナー」を設置し、局作成PR動画の放映、事業所情報を掲示し、企業の魅力発信に注力しました。また、雇用対策協定に基づき那覇市と連携して「カジュアル企業説明・面接会×観光求人充足キャンペーン」を実施しました。

#### 【雇用保険受給者の早期再就職件数】

- ・雇用保険受給者に対しては、初回認定日に全員相談を実施し、給付制限のある者には再就職手当の活用を促す「ワンステップセミナー」と窓口相談をセットにした「応当日相談」を行う等により早期再就職への意欲喚起をはかりました。

#### ② 長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の資質向上・育成に向けて、キャリア・コンサルタント資格取得を推奨し、職業紹介技法の向上のため、本省及び労働局主催のキャリアコンサルティング研修に10名の職員を送り出しました。また、職業紹介部門担当職員等に対し、「長期療養者支援事業」、「若者サポートステーション事業」、「県の各種支援事業」等についての研修を行い、専門的な支援が必要な方をスムーズにニーズに対応した支援窓口へ誘導できるよう取り組みました。

#### (2) 前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

- ・求職者情報公開機能を活用したマッチング強化のため、求人者・求職者に対し、求職者情報公開機能について周知を行いました。また、求職者に対しては、求職情報公開シートの内容の充実化をすすめ、求人者に対しては、事業所訪問時や求人受理時などの事業所担当者と接する機会をとらえ、求職者一覧表を提供することで事業所からのリクエストに繋げるなど、マッチングに取り組みました。
- ・シニア世代に対する就職支援としては、10月を「シニア応援月間」とし、シニア世代を対象とした就職支援セミナー（3回）、企業説明会（2回）及び面接会（1回）を実施し、採用者の増加に繋げることができました。
- ・訓練生への支援については、訓練誘導日（訓練期間中に設定の職業相談日）には受講訓練に関連する職種の求人を「見立て求人」として準備し、「訓練修了者歓迎求人」と併せて情報提供を行い、さらに個別支援へ誘導するなど、就職活動への意欲喚起に務めました。

#### (3) その他の業務運営についての分析等

求職者については、若者を中心にSNSはじめ様々な求人媒体を通じた就職活動が増加し、ハローワーク利用者が減少傾向となる一方、シニア層の求職者は増加傾向にあります。近年の物価高騰を背景に年金だけでは生活できずに就職活動をはじめめる者も多く見られます。また、事業所側ではコロナ禍以降、経済活動の活発化を背景にあらゆる業種で人手不足が顕著となっていることから、ハローワークによ

る求人者・求職者双方のニーズに応じたマッチング及び就職支援が強く求められており、職員一人ひとりのマッチング技能の向上にも取り組んでいく必要があります。

**(4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性**

- ・求職者情報公開機能の利用が低調であったことから、改めて、求人者及び求職者に対し周知を行うとともに、求人者への求職者情報一覧等の情報提供及び個別求人開拓の取組を強化します。
- ・観光業を中心に人手不足が継続していることから、事業所訪問により求人票以上の詳細情報を収集し、写真・動画を使って掲示内容等に工夫を重ねて求職者へのPRを強化し、マッチング向上に取り組めます。
- ・シニア層への就職支援策として、10月のシニア応援月間のみならず、シニア層対象の就職支援セミナーや企業説明会、面接会をより多く開催し、マッチング機会の拡大に取り組めます。
- ・職員一人ひとりのマッチング技能向上をはかり、求人者・求職者双方のニーズに応じた的確なマッチング及び就職支援ができるよう務めてまいります。

## 2 総合評価（※）

### 標準的な成果

※業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者早期再就職 割合	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職業紹介により、 正社員就職に結び ついた就職氷河期世 代の不安定就労者・ 無業者の 件数	生活保護 受給者など の就職率	障害者の 就職件数	就職支援 ナビゲータ ーの支援 による新規 卒業予定 者等(既卒 者含む)の 正社員就 職件数	公的職業 訓練修了3 ヶ月後の就 職件数	マザーズハ ローワーク 事業におけ る担当者 制による就 職支援を受 けた重点 支援対象 者の就職 率	人材不足 分野の就 職件数	生涯現役 支援窓口 での65歳 以上の就 職率
令和6年度目標	8,472	8,753	36.6%	90.0%	95.0%	517	68.6%	933	2,494	542	95.9%	2,172	83.4%
令和6年度実績	7,896	8,356	39.7%	80.6%	89.6%	455	68.7%	931	2,512	633	107.6%	2,259	97.7%
目標達成状況	93%	95%	108%	未達成	未達成	88%	100%	99%	100%	116%	112%	104%	117%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成状況」は年度当初に設定した目標値に対する「達成率（端数切捨て）」又は「達成」・「未達成」で表示。

# ハローワーク沖縄 就職支援業務報告（令和6年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

#### ① 各指標に対する取組

当所では、主要3指標（就職件数、求人充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数）の目標達成を最重要事項とし、求職者及び求人者に対するきめ細かな支援に取り組みました。就職支援については、職業相談時における求職者への求職希望条件などを丁寧に聞き取り、ニーズに対応した就職支援サービスの提供に取り組みました。具体的には求職者担当者制による個別就職支援を実施するとともに、就職活動を進めるうえでの課題把握、求人詳細情報の提供、応募書類の作成及び面接支援を行いました。また、キャリアチェンジ等の職業選択に迷う求職者に対して「自己理解」及び「仕事理解」を深めることを目的とした各種セミナーや求人説明会への参加勧奨を行ったほか、雇用保険受給者の早期再就職に向け初回認定時の全員相談を実施しました。「求職者マイページ」の開設を推進し、最新の求人情報や就職支援情報の提供を徹底しました。利用が減少傾向にある若年層やハローワークを利用したことの無い求職者へのアピールとして、令和7年2月開設のハローワーク沖縄インスタグラムや労働局ホームページ及びSNS等を活用して、就職支援サービスを周知しているほか、管内自治体へハローワーク支援メニューリーフレット等を配布するとともに自治体のホームページを活用してハローワークの利用勧奨に取り組みました。求人充足支援では、業界理解セミナーや事業所見学・体験会の実施、求職者への企業情報の提供、求人情報の掲示を行うなどの支援に取り組みました。

#### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取り組み

職員の中長期的な資質向上に向けて、業務に不可欠な事項・情報について計画的に所内研修を実施するとともに、本省が実施する情報セキュリティ、個人情報保護管理、公務員倫理、メンタルヘルス、文書管理等に関するオンライン研修を受講させ、沖縄労働局が開催する各種研修への職員の送り出しを行いました。

### （2）前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

#### ① 人手不足分野を中心とした求人充足対策

人手不足分野を中心に多くの業種で「人材確保」が課題となっていることから、求人充足対策に重点を置き、業界別の求人者担当者



制により求人者に対し求人作成時から求人充足（マッチング）まで一貫した支援を行うとともに、求職者に対して求職者担当者制による個別支援を充実させ、きめ細かな職業相談と求人情報提供、企業説明会・面接会を開催してマッチング機会の拡大を図りました。

② ふるさとハローワークでの求人説明会

各地域の求職者が参加しやすいよう宜野湾市役所及びうるま市役所に設置の「ふるさとハローワーク」において、各市内の事業所による求人説明会を開催しました。

③ 障害者対象求人の開拓の強化

障害者の雇用促進を図るため、障害者支援機関等と連携した事業所訪問を積極的に実施し求人開拓に取り組みました。

（３）その他の業務運営についての分析等

職業相談においては傾聴を基本として、求職者のニーズや課題について把握し、個別支援や各種セミナーへの参加勧奨等、適切な支援に速やかに繋げられるよう取り組みました。また、職業相談部門待合スペースを活用した業界理解セミナーや求人事業所の職場見学・就業体験会の開催を積極的に行いました。そのほか、求人者支援員による業界別求人担当者制を徹底し、担当事業所に対する労働市場の概況説明、求人条件に関する助言を行ったほか、採用したい人材像などの情報収集を行い、求人情報の積極的な提供など職業相談部門と連携した充足支援に取り組みました。ハローワークにおけるマッチング力の向上を図るため、様々な職員研修にも取り組みました。

（４）今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

① 的確なマッチングの実現

引き続き、求人者及び求職者それぞれのニーズ把握につとめ、全国の好事例を積極的取り入れ「充足会議」及び「個別支援」を充実させる取組を行います。求職者に対しては「各種セミナー」へ誘導することにより、自己理解、仕事・業界理解をすすめるとともに、応募意欲喚起をはかり、マッチングに繋がるよう取り組みます。また、令和７年２月に開設したハローワーク沖縄インスタグラムを活用して就職支援情報及び事業所情報を発信するとともに「お仕事理解セミナー」や「求人者説明会・面接会」への参加勧奨についても積極的に行います。

② 求人充足対策の強化

全国の好事例を積極的に取り入れ、産業別求人者担当者制により引き続き事業所訪問や条件緩和等の働きかけを行い、ハローワーク支援メニューの周知に取り組みます。また、求人者ニーズの把握・事業所情報の収集に努め、把握・収集した情報を充足会議等の場で

職業相談担当者と共有し、求職者へ積極的に提供します。

③ハローワーク利用促進の取組

求職者のハローワーク利用を促すため、ハローワーク沖縄Instagram、労働局ホームページやSNSを活用したイベント情報発信及び管内自治体等と連携した周知広報について継続して取り組みます。

## 2 総合評価（※）

### 標準的な成果

※業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険受給者早期再就職割合	満足度（求人者）	満足度（求職者）	ハローワークの職業紹介により、正社員に結び付いた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	生活保護受給者等の就職率	障害者の就職件数	マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	人材不足分野の就職件数	生涯現役支援窓口での65歳以上の就職率
令和6年度目標	6,334	5,631	37.4%	90.0%	95.0%	393	68.4%	656	95.9%	2,175	83.4%
令和6年度実績	5,685	5,122	38.6%	78.6%	94.2%	445	80.0%	633	96.2%	1,992	89.6%
目標達成状況	89%	90%	103%	未達成	未達成	113%	116%	96%	100%	91%	107%

※ 就職件数は「（従来の）紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「（従来の）紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成状況」は年度当初に設定した目標値に対する「達成率（端数切捨て）」又は「達成」・「未達成」で表示。

# ハローワーク名護 就職支援業務報告（令和6年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

#### ① 各指標に対する取組

当所においては、主要3指標（就職件数、充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数）の目標達成を最重要事項として位置づけ、朝礼にて求人者支援員から「おすすめ求人」、「求職者ニーズの高い求人」や「要件緩和を行った求人」、求人者支援員が収集した「求人票には記載されない細かな情報」を紹介担当者と共有することで、速やかな求人充足に取り組みました。職業相談では、対応前に希望条件に近い求人情報を準備した上で情報提供を行うこと、求職票記載内容の充実化（求職者の経験やスキル等の的確な把握）を徹底しました。雇用保険受給者については、求職者担当者制による重点支援対象者として、個別の就職支援を行ったほか、早期の再就職を促進するため、初回講習セミナーにおいて早期再就職のメリットの説明を行うとともに、求人事業所を招いて、直接、雇用保険受給者に対し企業PRしていただくことで求職者の就職意欲を喚起し、さらに失業認定日においては、職業相談を行った上で失業認定を受ける流れとする全員相談を行うことを徹底しました。その他、人材不足分野における人材確保の取り組みとして、分野別の求人者担当者制を実施し、求人票の記載内容の見直しや条件緩和を提案するとともに、自治体との連携による各種支援制度の案内、分野別求人情報誌の作成及び「介護・観光・保育・看護セミナー」を開催しました。観光業については、令和6年6月の「観光関連求人充足キャンペーン月間」に、セミナーの開催と併せて特集コーナーの設置、待合室のデジタルサイネージにてPR動画の放映を行いました。

#### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所において、求人業務研修、職業相談研修及び労働基準法研修を行い、職員のスキル向上を図りました。その他、職員の意識向上及びハローワークサービスの質の向上のためPDCA研修を行いました。

### （2）前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

前年度、主要3指標の実績が目標を下回ったことから、求職者の就職支援をより円滑かつ効果的に実施するため「求職者アンケート」様式を新たに作成し、緊要度の確認や個別支援の希望の有無など、求職者のニーズを的確に把握の上、求職者が必要とする支援メニューを提供する取組を実施しました。また、求人事業所の充足支援については、安定所職員が事業所を訪問し、求人票では見えない「在職中の

従業員の声」や「就業場所の写真」などを収集の上「事業所訪問シート」を作成。これを求職者に提供することで求職者の応募意欲を喚起する取組を実施しました。さらに、求人の早期充足と求職者の職場定着を図るために有効な「応募前職場見学」を積極的に推進するため、「応募前職場見学可能求人一覧」を作成し、求職者と求人者のマッチング強化を図りました。

### （３）その他の業務運営についての分析等

管内においては、大型テーマパーク関連の求人増加が見込まれる一方、観光関連産業を含む人出不足分野を中心に人出不足感が強まっており、人材確保対策が重要な課題となっています。

また、ハローワーク利用者においては、高齢者の割合が県内ハローワークの中で最も高く増加傾向にあるため、シニア層のマッチング支援も課題となっています。

### （４）今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

観光関連産業を含む人出不足分野を中心に積極的な事業所訪問を行い、「職場の雰囲気」等求人票だけでは伝わらない情報等を収集し、求人票と合わせて求職者へ提供する等「求人充足サービスの強化」を重点的に取り組んでまいります。また、高齢者をはじめとした個々の求職者ニーズを踏まえた求人開拓や求職者担当者制による個別支援等「マッチングの推進」に積極的に取り組んでまいります。

その他、求職者マイページの活用を積極的に周知し、迅速な求人情報等の提供を行うとともに、ホームページ等を活用した情報発信によりハローワークサービスの周知を図り、より多くの方にハローワークを利用いただけるよう取り組んでまいります。

## 2 総合評価（※）

### 標準的な成果

※業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険受給者 早期再就職割合	満足度 （求人者）	満足度 （求職者）	障害者の就職件 数	人手不足分野の 就職件数
令和6年度目標	2,014	1,628	41%	90.0%	95.0%	130	585
令和6年度実績	1,838	1,573	43%	87.7%	98.0%	146	566
目標達成状況	91%	96%	104%	未達成	達成	112%	96%

※ 就職件数は「（従来の）紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「（従来の）紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成状況」は年度当初に設定した目標値に対する「達成率（端数切捨て）」又は「達成」・「未達成」で表示。

# ハローワーク宮古 就職支援業務報告（令和6年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

当所では、主要3指標（就職件数、充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数）の目標達成のため、次の①から③について取り組んだ結果、主要3指標全てにおいて目標を達成することができました。

#### ① 求人者サービス

- ・企業の担当者が求人票以上の会社の魅力や人間関係などを伝えるミニ企業説明会を年間57回（参加事業所36社）開催し、408人参加、29人の就職に繋がりました。
- ・求職者アンケートで得た結果をもとに、求人者に対して事業所画像情報の登録を呼びかけ、求職者へ求人票以上の情報を届ける取組を実施しました。
- ・人手不足分野の求人充足を目的として、ハローワークの求人担当と求職担当がペアで事業所訪問を行い、現場で得た情報を「事業所訪問だより」としてまとめ、求職者へ情報提供を行うなど、効果的なマッチングを目指しました。その結果、人手不足分野の就職件数は令和5年度341件から令和6年度503件と増加しました。

#### ② 求職者サービス

- ・雇用保険受給者の早期再就職を促すことを目的として、初回講習資料に早期再就職のメリットや再就職手当受給のシミュレーションを盛り込み説明を行い、さらに、雇用保険説明会でも個別に再就職手当の支給見込額を示したリーフレットを配付するなどの取組を行いました。
- ・能動的マッチングの推進を図るため、電話や求職者マイページを活用し求職者の希望条件に合った求人情報及びセミナー等の情報提供を積極的に行い、応募書類の作成支援、求職者支援セミナー等への参加勧奨などにも取り組みました。①のミニ企業説明会では、就職という結果だけを目的とせず、求職者の仕事理解、会社理解を深める事にも取り組みました。

#### ③ サービスの質の向上に向けた取組

- ・外国人労働者が増えている現状に対応するため、外国人求職者の支援について所内研修を行いました。
- ・全ての相談担当職員について障害者の効果的な支援が行えるよう、障害者の求職登録に関する所内研修を行いました。

## (2) 前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

- ・ミニ企業説明会について、安定所SNS・労働局ホームページ・リーフレットを活用した周知強化、参加勧奨を行い、令和5年度323人から令和6年度408人と参加者が増加しました。
- ・効率的・効果的な情報発信が行えるよう求職者マイページの活用について、職員の研修による提案力の強化を図り、徹底した周知を行った結果、マイページ利用者数の割合は令和5年度末（令和6年3月）29.3%から令和6年度末（令和7年3月）52.3%まで上昇しました。
- ・雇用保険受給者に対し認定日毎に全員相談を行い、求職者への丁寧な職業相談を行い、個々人の課題やニーズに応じて必要なサービスメニューの提案を行うなど、メリハリのある支援に取り組みました。

## (3) その他の業務運営についての分析等

- ・増加するシニア求職者への就職支援として、シニア向け求人の確保に努め、求人票の所内掲示や一覧表の配布など、応募勧奨を行いました。また、求職者向けの「シニア応援セミナー」を実施し、履歴書作成や面接対策などについて説明し、求人への応募勧奨を行いました。その結果、60歳以上の紹介件数が令和5年度672件から令和6年度810件と20.5%（138件）の増加、就職件数が令和5年度363件から令和6年度494件と36.1%（131件）増加しました。
- ・沖縄県主催の「採用力向上セミナー」について、連携してハローワークから企業へ周知を行うとともに所内での開催とし、求人者へ自社の魅力発信、自社に合った採用手法に関する情報を提供しました。

## (4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

地域の基幹産業である観光関連産業を中心とした多くの業界で人手不足の状態が継続しているため、管内の求職者の年齢層や特性などを分析し、より効果的に人材確保対策が行えるように、次の①～③について事業主への働きかけや支援を強化してまいります。

- ① 人材の定着のための働き方改革や生産性向上に関する支援制度等の情報提供
- ② 採用優先順位の見直し提案（管内で求職者数が多い高年齢者の積極的な採用）
- ③ 求人票のわかりやすい明示に加え、企業及びその業務に関するアピールポイント（やりがい・雰囲気など）の拡充

また、ハローワークの利用促進については、求人者ニーズを求職者に、求職者ニーズを求人者に効果的に発信し、届けていくことが重



要であると考え、関係機関との連携や地域のマスコミへの情報提供、ホームページやSNSを活用した情報発信を強化してまいります。

## 2 総合評価（※）

### 良好な成果

※業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 （求人者）	満足度 （求職者）	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結びつい た就職氷河期世 代の不安定就労 者・無業者の件数	人手不足分野の 就職件数
令和6年度目標	1,622	1,532	39.7%	90.0%	95.0%	73	370
令和6年度実績	1,850	1,809	41.1%	75.0%	98.1%	96	503
目標達成状況	114%	118%	103%	未達成	達成	131%	135%

※ 就職件数は「（従来の）紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「（従来の）紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成状況」は年度当初に設定した目標値に対する「達成率（端数切捨て）」又は「達成」・「未達成」で表示。

# ハローワーク八重山 就職支援業務報告（令和6年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

#### ① 各指標に対する取組

管内企業の人手不足の状況から、充足件数の目標達成のため、所内レイアウト変更、求人票の求人内容（特に仕事内容）欄の充実、求人受理後3週間経過しても応募が無い事業所に対するフォローアップとして人材確保サポート窓口の支援メニューの案内やミニ企業説明会の実施回数増などの取組を行いました。

また、求職者に対する求人情報提供や説明会、セミナー等の周知・勧奨を行い、雇用保険受給者の認定日における職業相談などの支援強化や再就職手当活用による早期再就職の促進を行い、求人者・求職者のマッチング強化に取り組みました。

#### ② 所重点項目や地域課題に対する取組

人材不足分野において、有資格者へ情報提供を行い、就職氷河期世代の正社員就職件数では、正社員求人で経験不問や賃金下限20万円以上の求人を該当する求職者へ情報提供する等積極的な支援を行いました。

また、就職氷河期世代の不安定就労者や無業者においては、自己理解や職業理解が不足している求職者もいるため、サポステ八重山による週1回ハローワークでの出張相談やセミナー、適職診断を行い、連携して支援を行いました。他には高齢者の相談が増えているため、「60歳以上歓迎求人」を確保して高年齢求職者への積極的な支援を行いました。

#### ③ 職員の資質向上に向けた取組

職員の資質向上のため、職業相談や求人受理時に必要な労働基準法等の各種労働法及び法改正について、研修を実施しました。

また、職業紹介における特殊ケースを想定した電話対応、サポステ職員による研修を行い、サポステ支援の内容を理解することでその後の連携強化を図りました。

### （2）前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

#### ○ 求人者へのハローワーク利用の満足度を高める取組

前年度のハローワーク満足度調査は78.6%でした。要因としてマイページ利用率を上げるため、事業所が来所した際も求人者マイページから求人を提出するよう依頼していたことが考えられたため、令和6年度は求人者支援を見直し、下記サービスを実施した結果、満足度は89.2%と前年度から10.6ポイント上昇となりました。

#### ① 求人窓口の相談体制の見直し

事業所担当者が求人提出のため来所した場合は、所内システムで一緒に入力操作を行うなど丁寧な対応を行いました。また、求人票の内容欄の充実（特に仕事の内容を詳細に記載するなど）、求人受理後3週間経過しても応募の無い事業所に対するフォローアップとして人材確保サポート窓口の利用案内等の支援を行いました。

#### ② 企業説明会の開催

求人票では分からない事業所の魅力を伝えるため、前年度を上回るミニ企業説明会を開催しました。求職者からは仕事内容の詳細や事業所の雰囲気など「生の声が聞ける」と好評であり、事業所の方も説明会に参加した求職者に事業所見学を勧奨し、リクエストにより応募に繋がるケースもあり、求人充足に結びつく取組となっています。

#### ③ ニーズに合わせた説明会や相談会の開催

人材不足分野（医療・介護）や基幹産業である観光業、高齢者や移住者などへの取組として合同説明会や相談会を開催しました。

また、今年度初めて地方就労支援コーナー（飯田橋所・梅田所）と連携して八重山管内への移住・就労を希望する求職者と「八重山地区のオンライン説明会」を開催し、管内医療機関による業務説明等を行い、新たな求職者の掘り起こしに繋げました。

#### ④ 事業所向けの採用活動と雇用管理セミナーの開催

人材確保に苦慮している事業所に対して、採用活動のアドバイスや人材流出を防ぐための適切な雇用管理について説明するセミナー、個別相談会を労働基準監督署と共催で行いました。

### （3）その他の業務運営についての分析等

- 充足支援を積極的に行った結果、求人者満足度は89.2%と前年度を上回ったものの、目標値90.0%は達成できませんでした。
- 充足支援を行うことで、充足件数は目標値を達成しましたが、人材不足分野や有資格者の求人充足に苦慮しており、該当する求職者の掘り起こしが必要となっています。
- 求職者に対しても積極的な求人情報の提供、丁寧な相談などを行った結果、就職件数は目標値を達成しましたが、高齢者や就職困難者等のニーズに沿った対応に臨めなかった部分もありました。

- 所の重点項目である人材不足分野の就職件数は、資格や経験を必要とする求人が多数を占めており、職種によっては資格を持っている求職者数を上回る求人が提出されマッチングに苦慮するところもあり、就職件数は370件で目標とする409件を達成できませんでした。

#### (4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

- 充足支援の継続的な取組

令和6年度に実施した取組により、企業説明会の開催回数及び参加事業所数は増加し、人材確保サポート窓口の利用勧奨・求人充足に向けたフォローアップなどにより充足件数も増加したことから、継続して求人・求職のマッチングに取り組んでいきます。また、求人開拓や求人者マイページの利用促進のため、事業所訪問により収集した情報を求職者に積極的に提供していきます。

- 充足支援の新たな取組

八重山地域の課題である看護師不足について、ナースセンターと連携してオンライン相談会を実施。その他の人材不足分野でもオンラインで求人説明会を開催して管外の求職者や移住希望者など新たな求職者の掘り起こしを強化します。令和7年度はサポステと連携し、求職者向け課題解決支援サービス、ハローワーク出張相談に加え、就活セミナーを定期的に行い、自己理解、職業理解を促す支援を行います。

- 求職者支援サービスの拡充への取組

職業相談においてキャリアコンサルティング手法により課題解決支援を行うため、厚労省、労働局主催の研修に積極的に職員を参加させ、専門性やスキルの向上に努めます。沖縄県ナースセンターや沖縄県保育士・保育所総合支援センターと連携し、オンライン相談を定期的で開催して看護師や保育士への就職支援サービスの拡充に努めます。U I J ターンや管外からの就職希望者に対して「U I J ターン 歓迎求人」の確保、地方自治体と連携した合同相談会、移住相談会にも積極的に参加して管内求人の充足に取り組んでいきます。

## 2 特記事項

主要指標や所重点指標の目標を達成するためには、求人者・求職者ともにハローワークの利用を向上させる必要があります、「ハローワーク離れ」と言われるなか、求人者・求職者の確保が喫緊の課題です。令和7年度は、自治体や経済団体のSNSや広報誌などにハローワーク支援メニューからイベントまで幅広く周知依頼を行うとともに、地元新聞社やケーブルTVなどのマスコミを通して幅広い情報を発信します。

### 3 総合評価（※）

#### 良好な成果

※業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

### 4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 （求人者）	満足度 （求職者）	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結びつい た就職氷河期世 代の不安定就労 者・無業者の件数	人手不足分野の 就職件数
令和6年度目標	1,518	1,609	41.8%	90.0%	95.0%	68	409
令和6年度実績	1,736	1,677	39.8%	89.2%	95.4%	51	370
目標達成状況	114%	104%	95%	未達成	達成	75%	90%

※ 就職件数は「（従来の）紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「（従来の）紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成状況」は年度当初に設定した目標値に対する「達成率（端数切捨て）」又は「達成」・「未達成」で表示。